

## 特集

地域からの  
情報発信能代市『おなごりフェスティバル』  
— 行く夏を惜しむ恒例イベント —水土里レポーター 三浦 誠樹  
(秋田県能代地区土地改良区)

秋田県北部に位置する能代市の恒例イベント「おなごりフェスティバルin能代2012」が、今年も「東北から元気」をテーマに、9月7日(金)・8日(土)の2日間に渡って開催されました。

今年は節目の25回目を数え、能代市畠町通りを会場に県内外の祭りが集まり、常連出演の「青森ねぶた」、「盛岡さんさ」、「浅草カーニバル」、「秋田竿燈まつり」「能代七夕」などの参加に加え、岩手県大船渡市から「盛町灯ろう七夕」が初出演し、東日本大震災からの復興を力強くアピールしていました。また、9月7日の前夜祭には、ミッキーマウスなどのディズニーキャラクターが出演してスペシャルパレードを行い、多くの見物客が押し寄せていました。主催者発表によれば、二日間で約50万人の見物客が訪れたそうです。



当日は、東日本震災被災3県の支援ブース、秋田B級グルメ屋台が設けられ、日中から多くの人々が詰めかけていました。夜のメインイベントの時間が近づくと会場は人垣でいっぱいになり、家族連れや友人グループの熱気と興奮に包まれていました。

午後6時、のろしを合図に会場北端から能代駅前方面に向かって、「盛岡さんさ」、「浅草カーニバル」、「青森ねぶた」などが次々とスタートします。一般から募集したハネト(踊り手)が後に続きます。

同じく反対側からは、マーチングバンド、能代一中、能代二中の生徒がはやしを響かせながら七夕の灯ろうを曳き始めます。躍動的な乱舞と勇壮華麗な夏祭りのパレードが通りを埋め、例年同様午後9時まで会場は興奮のるつぼと化していました。見物客の誰もが目の前を勇壮、華麗に練り歩く各地の祭りを満喫し、去りゆく夏をなごり惜しんでいるようでした。



この大規模なイベントを主催する実行委員会は、ほとんどが無償のボランティアスタッフや地元の有志で構成されているそうです。経済不況や高齢化などの問題から、実行委員会のメンバーに掛かる負担も大きくなっているものと思われますが、このイベントは、単に商業的な目的だけではなく、各地域の伝統と文化を育み、次代を担う子どもたちに引き継いでいくという重要な役割を担っていると思います。自分も一人の地域住民として、来年以降もこのイベントが盛大に行われるよう期待しています。(写真提供:能代市)

# 「水土里情報システム」の活用について

## ■現地調査システムの活用事例(三種町)

9月12日(水)、三種町山本地区で町職員や農業委員会、JAなどの関係者約20名が参加して、携帯タブレット機を使用した、転作農地の現地調査が行われた。

調査は、タブレット端末を現場に持ち込み、画面上に地番図や航空写真を表示し、端末のGPS機能で現在地を把握することで、調査対象となる農地や水利施設を容易に特定することが可能となる。

今回の調査では、関係者が3班に分かれ、タブレット端末を現地に持ち込みながら転作農地の地籍地番、転作作物(ソバ、大豆など)の生育状況などの確認作業を行った。各現場では水土里情報の図面情報や農地情報を見ながら、現在地を把握し



現地調査の様子(三種町)



水土里タブレット

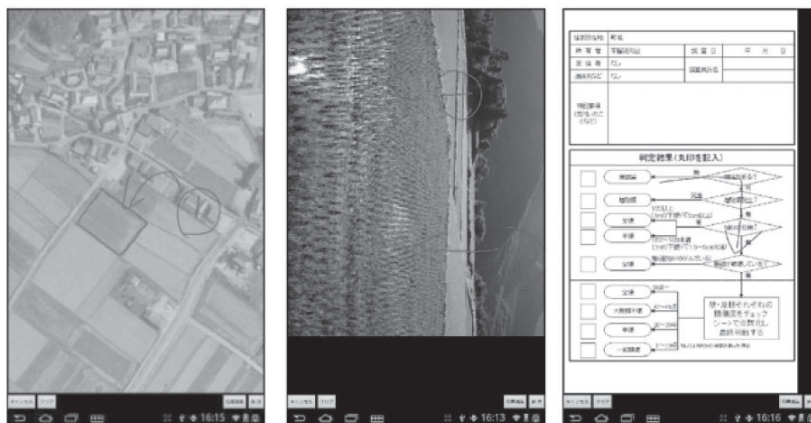
簡単に地籍地番等の確認が出来ることから、作業担当者からは好評を得ていた。

本調査は、本会で運営している「水土里情報システム」の新たな活用方法として実践されたもので、県内では初の試みとなった。今後は、現場作業における作業時間の短縮、人員削減等にも大きな効果が期待されている。なお、本会ではタブレット端末を5台保有し、要望に応じて「水土里情報システム」の加入団体に貸出(有料)して行くことにしている。

### 主な機能

- GoogleMapsのようにタイル化された地図の高速表示
- ※NTT空間情報(株)提供のGEOSPACE電子地図及び航空写真(~1/1,000)を利用
- ポイント・ライン・ポリゴンの地物登録、写真撮影・手書きメモ入力可能
- タッチパネル端末採用により直観的な操作が可能
- オフラインで地図表示や情報収集が可能(収集結果はファイルを渡す方式)
- 地図はオンライン(3G、無線LAN)の取得が可能

### 【手書きメモ入力例】(地図、スキャン画像・写真への手書きメモ)



### 【現地調査システム(水土里タブレット)利用料金】

区分	基準単価(円)	適用
1業務当たり	54,000	定額
1ヶ月/台	12,000	台数、月額

### (適用範囲)

本表は、現地調査システム(水土里タブレット)のシステム設定、利用料とします。

また、本表は水土里タブレットに登録する基本データの入力とし、その他カスタマイズする場合は別途相談をお願いします。

【担当部署】 水土里情報センター一室(水土里ネット秋田 管理情報部内)  
TEL.018-888-2737 FAX.018-888-2835

## 会員だより

### 新理事長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長に就任されました。

- 稲川土地改良区(H24. 8. 2)  
理事長 瀬川 等
- 八郎潟土地改良区(H24. 8. 10)  
理事長 畠山 一孝

### 土地改良区事務所移転のお知らせ

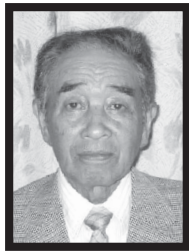
次の土地改良区等が新たな事務所に移転されました。

- 琴丘土地改良区(H24.9.19～)  
〒018-2104  
山本郡三種町鹿渡字中沢新田 34-1  
(TEL)0185-87-2277 (FAX)0185-87-2606
- にかほ市土地改良区(H24.10.15～)  
〒018-0311  
にかほ市金浦字花潟 93-1  
にかほ市役所 金浦庁舎(1階)  
(TEL)0184-74-5496 (FAX)0184-74-5497

### 農林水産省東北農政局長就任のお知らせ

次の方が新たに東北農政局長に就任されました。

- 農林水産省東北農政局長(H24. 9. 11)  
五十嵐 太乙  
(独立行政法人家畜改良センター理事)



## 本会役員の記事

本会理事の安井操(78歳)さんが、急病の為10月7日永眠いたしました。  
安井さんは、平成12年に本会理事として就任、平成18年11月には秋の叙勲・旭日  
単光章(土地改良功労)を受章されました。  
会員の皆様に訃報をお知らせしますとともに、謹んでご冥福をお祈り致します。

## 第2回理事会・第1回役員会が開催される

8月29日(水)、本会の第2回理事会・第1回役員会が本会第1会議室で開催された。

はじめに高員会長が挨拶に立ち、「平成22年度に、農業農村整備事業予算が大幅に削減されて以来、地域農家の期待に応えることが難しい状況にある。平成25年度予算の確保に向け、ほ場整備の計画的推進、水利施設の長寿命化に向けた必要額の確保、農業体質強化基盤整備事業の継続、再生可能エネルギーの加速度的推進、国の水土里情報への積極的関与など、政権与党、各省庁、県選出国会議員への要請活動を行っている。今年度の事業計画の重点事項である水土里情報を活用した業務展開、農業体質強化基盤整備事業に係る会員支援、小水力発電、地域農業マスタープラン等に全力で取り組んでいる」と述べた。

理事会では、平成23年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録について、など4件が審議され、いずれも原案のとおり可決された。

続いて行われた役員会では、平成24年度秋田県土地改良事業功績者表彰の選考について、他1件が協議され、これも原案のとおり議決された。

なお、理事会に先立ち行われた監事会では、平成24年度一般会計補正予算(案)についてが審議され、原案のとおり承認された。

#### <理事会提出議案>

- 第1号 平成23年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録について
- 第2号 平成24年度一般会計補正予算について
- 第3号 農業農村整備事業促進委員会規程の廃止について
- 第4号 秋田県土地改良区統合整備推進協議会規程の一部改正について
- 第5号 会計細則の一部改正について

#### <役員会協議事項>

- 第1号 平成24年度秋田県土地改良事業功績者の選考について
- 第2号 平成25年度新規職員採用について

#### <監事会提出議案>

- 第1号 平成24年度一般会計補正予算(案)について

連 合 会 日 誌

7月31日	平成24年度秋田県農地利用集積推進対策会議	本会「第1会議室」
8月29日	平成24年度換地委員等実務研修	秋田市
9月5日	東北・北海道土地連絡協議会平成24年度第2回事務責任者会議	北海道
9月10日	第1回土地改良区地区別意見交換会(男鹿市・大潟村)	男鹿市
9月10日	平成24年度農地・水保全管理第2回担当者会議	秋田市
9月18日	第1回土地改良区地区別意見交換会(潟上市・八郎潟町ほか)	潟上市
9月20日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
9月21日	全国ため池等整備事業推進協議会総会	東京都
10月3日	第1回土地改良区地区別意見交換会(能代市地区)	能代市
10月9日	平成24年度東北管内農地・水保全管理支払交付金担当者会議(第2回)(～10日)	仙台市
10月19日	平成24年度疏水ネットワーク通常総会及び疏水フォーラムinいんばぬま2012(～20日)	千葉県佐倉市
10月20日	2012語り部交流会inあきた	にかほ市
10月20日	銅屋地区県営ほ場整備事業竣工式典並びに祝賀会	秋田市雄和
.....今後の行事予定.....		
10月25日	平成24年度第3回農業農村工学会東北支部秋田大会(～26日)	秋田市
10月31日	第135回秋田県種苗交換会(～11/6)	能代市
10月31日	第15回全国農業担い手サミットinあきた	秋田市「秋田県立武道館」
11月2日	平成24年度秋田県土地改良事業推進大会	能代市「能代市文化会館」
11月5日	第56回秋田県農業委員大会	能代市
11月9日	秋田支部要請活動	仙台市「東北農政局」
11月16日	大潟土地改良区創立40周年記念式典並びに祝賀会	大潟村
11月21日	第35回全国土地改良大会(沖縄大会)(～23日)	那覇市

第135回秋田県種苗交換会

今年は能代市で開催!!

「農業農村整備フェア」

農業の祭典『第135回秋田県種苗交換会』が、10月31日～11月6日まで能代市を会場に開催されます。期間中、本会では農業農村整備事業のPRのため県内国営事務所、秋田県と共催で参考展示「農業農村整備フェア」を協賛第1会場で開催します。皆様の来場をお待ちしております。

期 間：平成24年10月31日(水)～11月6日(火) 9:00～16:00

場 所：主会場・協賛第1会場(能代市総合体育館2F)

内 容：各種パネル・事業模型の展示、土地改良相談コーナー、カレンダー作成など

共 催：東北農政局(西奥羽土地改良調査管理事務所・平鹿平野農業水利事業所・田沢二期農業水利事業所)、秋田県農林水産部、秋田花まるっGT協議会、水土里ネット秋田

野山の花 エゾオヤマノリンドウ(蝦夷御山竜胆)



山形県以北の山地の湿った草地や林縁、あるいは火山灰地に生える多年草。草丈は10～30cm程度で茎は直立し、狭披針形の葉が対生する。エゾリンドウの高山型で花は茎頂付近しか付かないのが特徴。天気良く、陽光が一杯に当たっていないと開花しないという性質がある。花期は8～10月。『花言葉:あなたの悲しみに寄りそう、誠実』 撮影/井島:2012.9 森吉山

編 集 後 記

◆ 稔りの秋を迎え、各地で出来秋を祝う祭りが開催される時節となりました。祭りでは古来より神に対する祈りを具体的に表現する「伝統芸能」が行われてまいりました。農山村の年中行事は血縁、地縁に支えられ風土に合った独自の文化を形成して今日に至っております。四季を通じて人々は産土の神を心の拠り所として祭典や諸行事を行い、郷土への誇りと生き甲斐を感じておりました。しかしながら、秋田県の高齢化率は、全国一。少子高齢化率が顕著な時代を迎え、その村にしかない貴重な伝統芸能が絶える集落も少なくない。今まさに「伝統文化の危機」を迎えている中であって、地域の「相互扶助力の低下」も著しいことから、次代の担い手となる子どもたちが民俗芸能や伝統文化を学ぶ良い機会が来ることを願っています。 広報・渉外班 ◆高橋(康)記

※本印刷用紙は、大昭和板紙秋田工場で生産された「地産池消製品」を使用しております。